

樹脂グレージング用 ハードコート剤



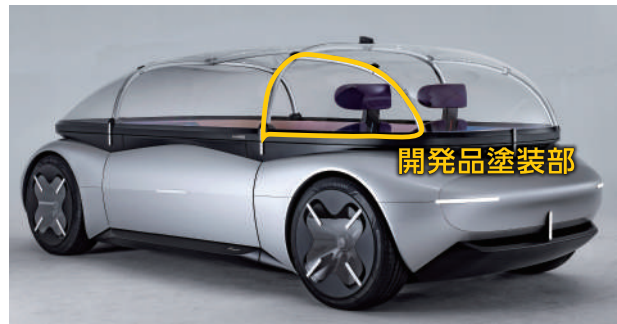
開発中

(2025年上市予定)

ガラスの樹脂化で軽量化とデザイン自由度に貢献

ユーザーメリット

- ▶ ガラス比で約50%の軽量化
プラズマCVD無しでフロントガラス規格対応の
耐摩耗性と耐久性が両立でき、ガラス代替可
- ▶ デザインの自由度が高い
ウェットコートのため大型部位や複雑形状にも対応可
- ▶ 環境にやさしい水系コート剤
水系化によるVOC削減



耐摩耗性試験(テーパー摩耗試験)



テーパー摩耗試験
ANSI/SAE Z26.1 準拠



ポリカーボネート(PC)
 $\Delta\text{Haze} > 20$

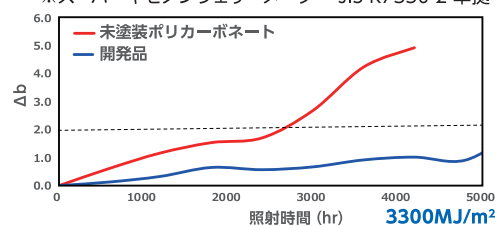
PC+開発品
 $\Delta\text{Haze} < 2$

ガラス
 $\Delta\text{Haze} < 2$

ガラス同等の耐摩耗性

促進耐候性試験(色調変化)

※スーパーキセノンウェザーメーター JIS K7350-2 準拠



記載データは代表値であり、規格値ではありません

お客様からの声

- ▶ 水系ウェットコーティングで全ての
ガラスウィンドウに対応できるのは魅力的

採用実績

- ▶ 開発中のため実績は無いが、欧州、アジアの
OEM様、Tier1様で評価中

その他製品情報

競争優位性	現行ハードコート剤比: 水系のため冷蔵保管不要
サステナビリティ	現行ハードコート剤比: 塗装工程時のVOC排出量削減 ガラス比: LCAで優位
背反懸念事項	ガラス比: 約50%軽量化 ガラス比: コスト高